

日本の都市部における居住環境 の課題と解決策

壽崎かすみ

自己紹介

現在、文系学部で教えているので、海外との文化比較も含めての研究が多くなっています

本日の話も事前にご案内した内容とは変えました。

それでは

居住環境

居住環境の質を図るメジャーの標準は、日本にはありません
ヨーロッパは国によりますが、だいぶ状況が違います

子どもに関わるはなしから

待機児童ゼロ のために

保育園の施設基準が緩和されています

基準が緩和されるのは、子どもにとっては良いことではありません

ビルの10階の保育所、マンションの1室を利用した保育所などが認められています。

昔は、認可保育園になるためには、園庭が必要でした。

保育所

「専業主婦のいない国」といわれるスウェーデン

特殊合計出生率も高く、2.2を上回っています

育児休業などの制度整備

保育所の整備

スウェーデンの保育所

スウェーデンは都市計画で施設立地をきちんと計画的に行っています
徒歩圏に保育所が一か所はある など

どうやって保育所を確保するか？

あとで、転用がきくように建物を計画する・設計する

→ マンションの1階部分を利用したりする

ただし

園庭がないかわりに、マンションの共用庭を遊び場を使う
などして、子どもの外遊びの空間を確保しています

共用の緑地



専用ではないけれど、十分な戸外空間が確保されています

犬やネコと暮らす場合

犬やネコの飼育の3大トラブル

鳴き声

犬のフンの放置

犬の(尿の)臭い

(ノラネコの問題もありますが、今は置いておきます)

トラブルを避けるために

犬の排泄は自宅の室内でさせること

を推奨（国の省庁、市役所など）

室内用トイレ 犬用



室内にトイレを置き、そこでするようにしつける

プラスチックのトレーにペットシート(紙おむつをシートにしたような品物)をしいて使うのがふつう

(写真はペット用品通販のWEBページより)

実際は



大阪府下の公園の立
て看板

公園の立て看板



公園の張り紙



この公園は散歩中の犬の
たまり場になります

公園の近くのマンションの植え込みです



植え込みで排泄する犬が多いのです



ヨーロッパでは・・・

犬の室内トイレはない

犬は戸外で用を足すようにしつける(イギリス)

イギリスでは犬のふんの回収は飼い主の責任と法律で決まっている

回収しなかったのを見つかり、最大£1000の罰金(過料?)

尿の臭いの問題はない

イギリスの公園 ここは「犬はリードをつけて」



イギリスの公園 犬はノーリードでもOK



公園で自由に遊ぶ犬たち



犬のフンを捨てるためのごみ箱が設置されている



柵で囲われた犬のためのエリア(ノーリードOK)



犬、立ち入り禁止区域 子どもの遊び場



まちなかで 大人しく飼主を待つ犬(右)



イギリスでの犬のフン・尿問題の扱い

散歩の途中で排尿、マーキングをしないようにするのもしつけのうち
公園のノーリードOKのエリアは別

→ 犬は公園で思い切り走り回って発散している

要求が満たされていれば、犬は鳴かない

犬の鳴き声、いたずら

分離不安 :

犬だけで留守番させると鳴く、家の中をぐちゃぐちゃにする

→ 日本では犬の問題行動として扱われる

イギリスの場合 : 犬に留守番をさせるのは4時間が限度

フルタイムで働く一人暮らしの人が犬を飼うのは無理

ロンドン市主催の無料のしつけ教室の案内



ロンドンの地下鉄 地下鉄に乗る犬(右)



スウェーデンの場合 犬お断りの標識 (犬不可が普通ではないということ)

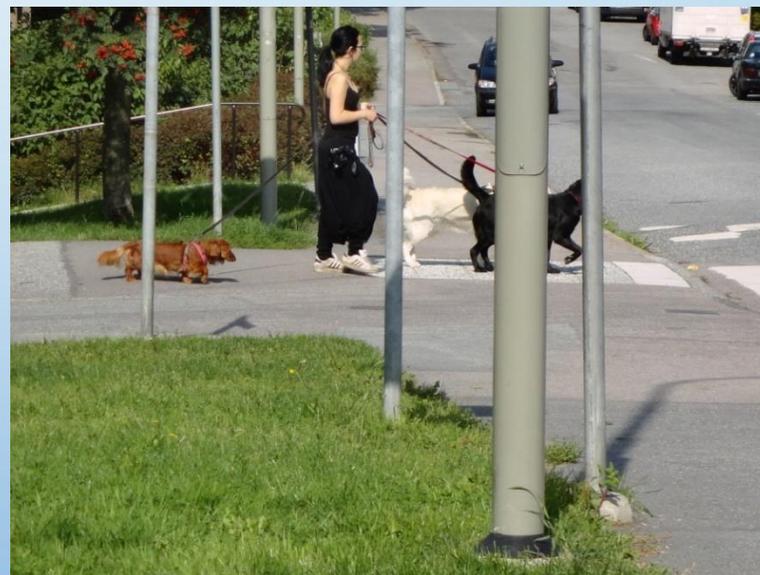


スウェーデン

飼主を待つ犬 繋がれていない



犬の散歩をする女性(3匹)



ミュンヘン

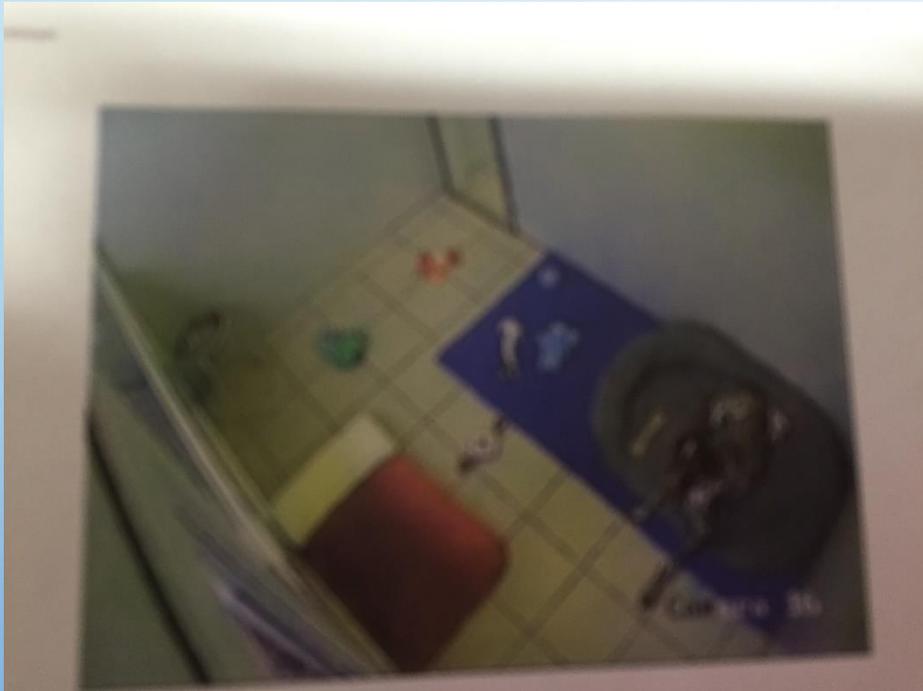
犬の散歩



地下鉄は犬OKですが、電車は×



イギリスでの犬の扱い (シェルターでの扱い)

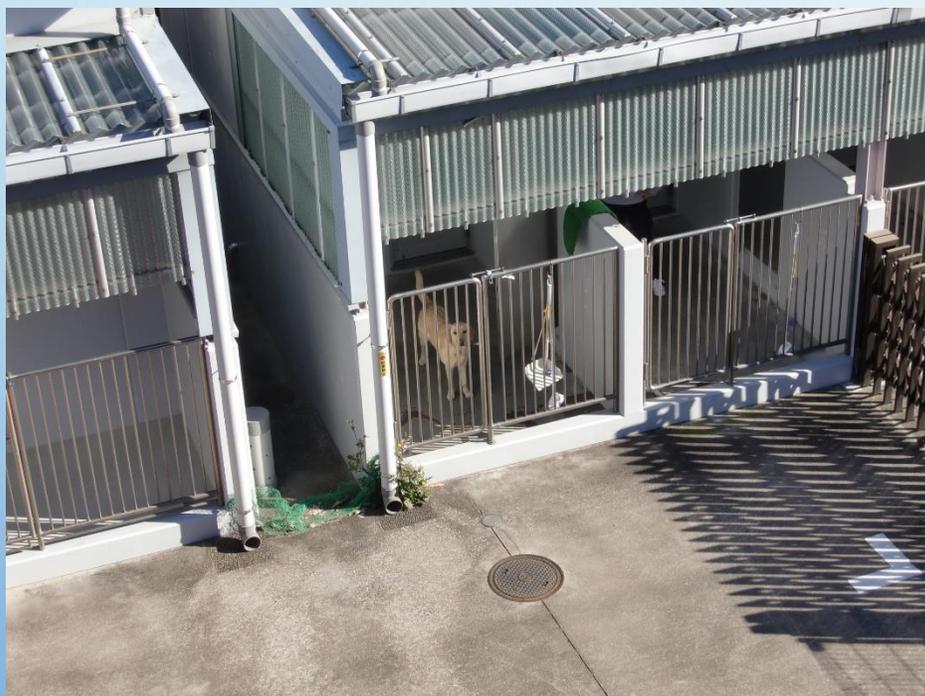


1頭ずつ個室、十分な広さ

見学者の視線から逃れられる居場所

MAYHEW ANIMAL HOMEでは普通の
家庭の状況に近い設備(DOG
BORDINGに負けない)との説明

日本盲導犬協会 横浜センター



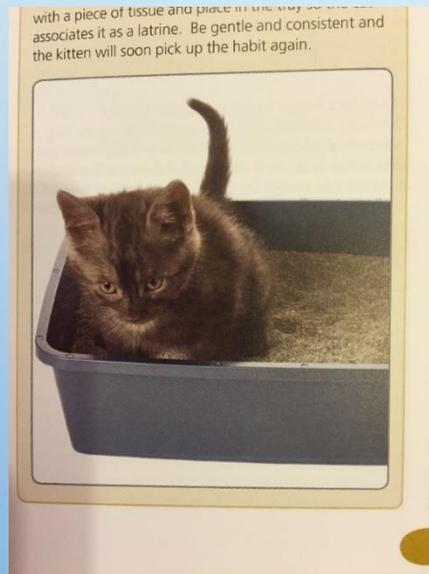
広さはあるが、床はコンクリート

関西盲導犬協会との比較で、かなり恵まれた状況(ケージにいれられていない)

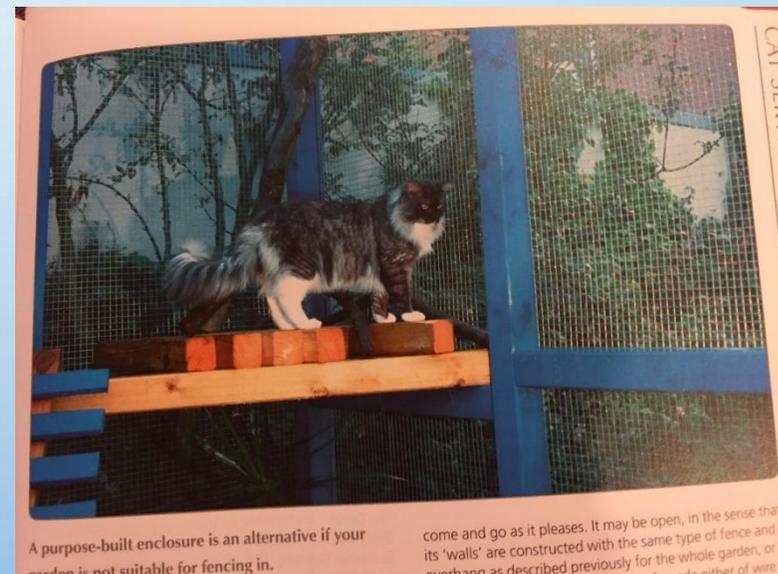
ねこ

写真はHAYNES CAT MANUALより

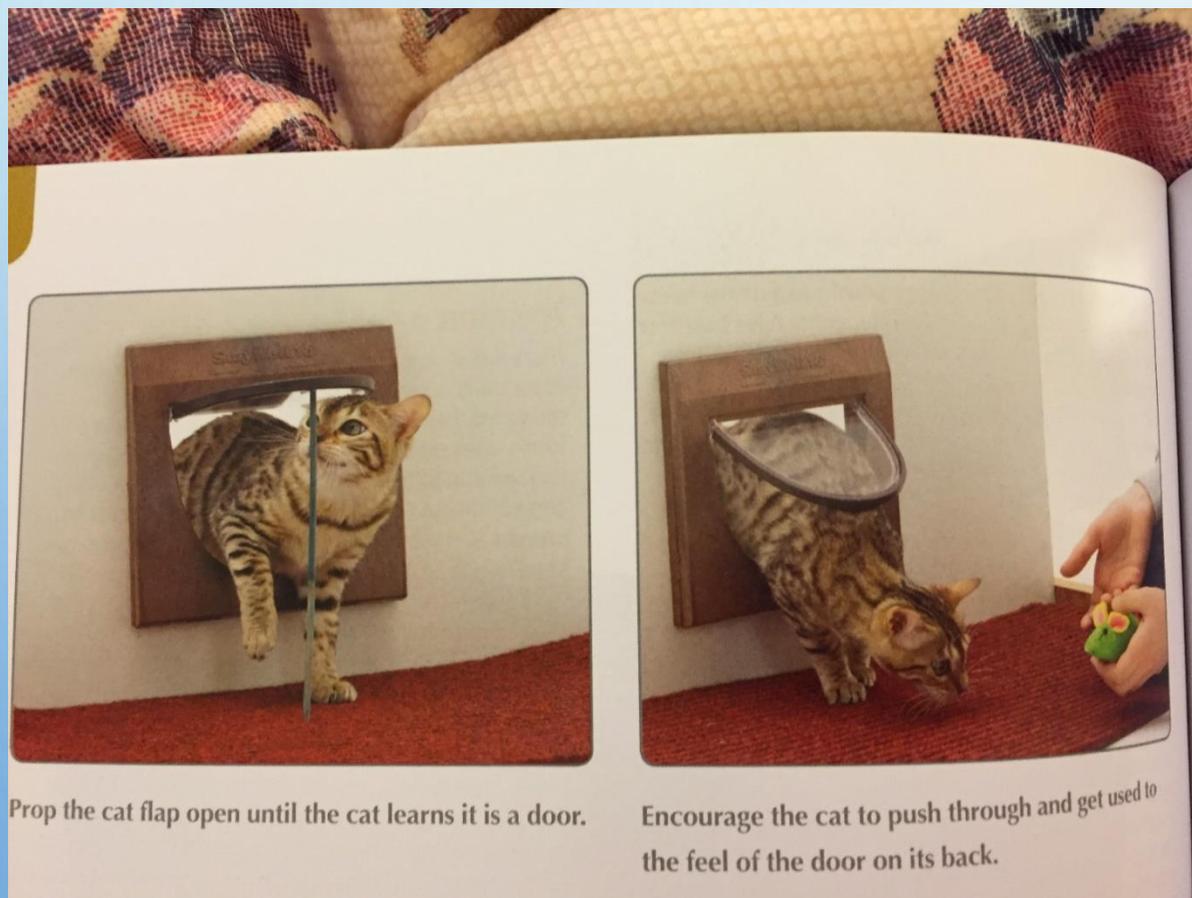
ネコのトイレ(砂しか使わない)



ネコのための戸外エリア



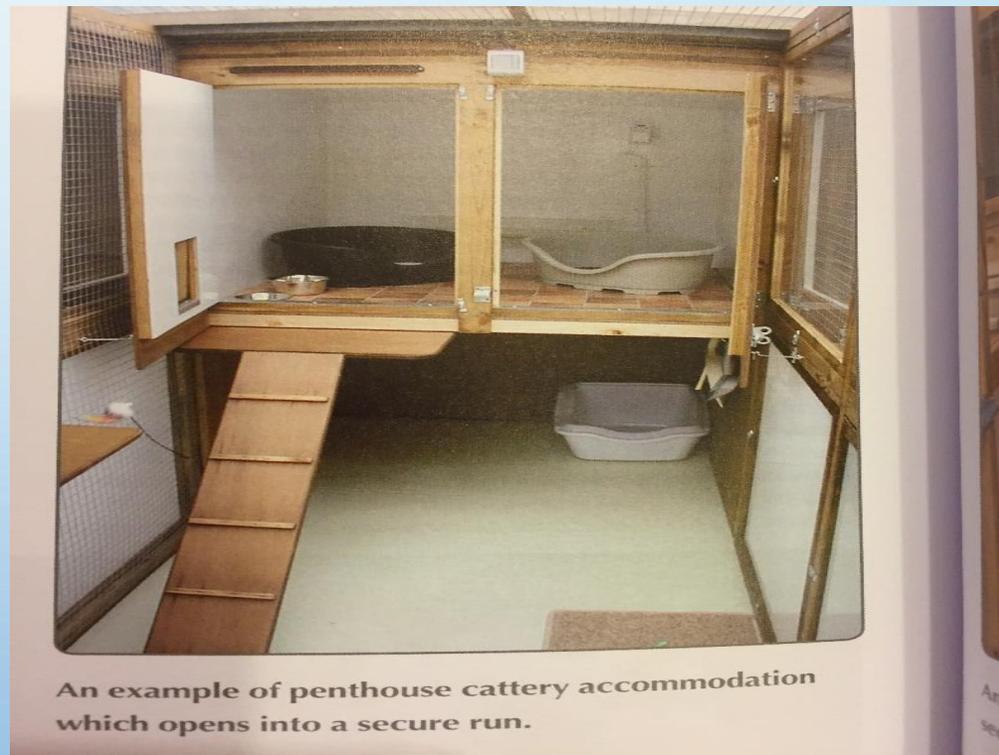
ネコのためのドア



ねこは外に出して飼うのが良いとされ、自由に戸外と行き来できるようにドアをつける。マイクロチップを鍵として使用

写真はHaynes
Cat Manualより

ねこの扱い (シェルターでのネコ1匹のための空間)



日本のネコのシェルター



土地利用と建物

ロンドンのまちなみ



イギリスの住宅地

イギリスの住宅は、バックヤード(裏庭)がたっぷりあってあるので、航空写真で見ると、町の中に緑がしっかりあります

京都のまちなみ

京都の町中は通りに沿って建物が並び、町家の場合は坪庭がありますが、建物がびっしりです

衛星からみた京都市



緑がありません。びっしりた
てこんでいます

イギリスの公園

イギリスで「公園」は広大な緑地・オープンスペースです。それが、あちこちにあ
り、市民に開放されています。

夏になるとデッキチェアを貸し出すところもあります

公園には野生の動物が住んでいます。リスなどは、あちこちで見られます

最終的には価値判断の問題

ただし、都市内気候、地球温暖化にも影響